



2014 横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

男子準決勝

中沢ミニバス VS 鶴ヶ峰本町ミニバス

1Q

中沢④⑤⑥⑨⑰、鶴ヶ峰本町⑤⑥⑩⑪⑬で試合が開始される。中沢⑤のインサイドからの得点でゲームが動き始める。中沢④、鶴ヶ峰本町⑥を中心にゴールを狙うが、両チーム共マンツーマンディフェンスで相手の動きを封じ相手に加点を許さない。残り 2 分を切ったところで鶴ヶ峰本町⑥、⑩が得点を決めると、中沢も④アタックからフリースローを得て応戦する。1P は 4-5 と互角で終了する。



2Q

中沢⑦⑧⑪⑬⑭、鶴ヶ峰本町④⑥⑦⑧⑯で 2P が開始する。1P 同様両者マンツーマンディフェンスで相手の得点を抑え、開始 2 分間共に得点ができない。中沢⑪のインサイドでの得点からゲームが動き始め、⑪⑭⑬のリバウンドシュートで加点を続ける。鶴ヶ峰本町は④⑥がミドルシュートでゴールを狙うが中々加点できず、このピリオドは無得点となる。15-5 で 2P が終了する。

3Q

中沢④⑤⑥⑦⑪、鶴ヶ峰本町④⑤⑦⑩⑫で後半開始。鶴ヶ峰本町がオールコートプレスディフェンスで中沢の攻撃を抑え、④⑤が中沢ゴールを脅かすも得点につながらない。一方中沢はプレスディフェンスを切り抜け、⑤のインサイド、④のミドルが決まり始め、徐々にその差を広げ始める。鶴ヶ峰本町も後半⑩⑦のゴールで詰め寄るが、終了間際中沢⑪がミドルを 2 本決め突き放す。25-11 で中沢が点差を広げ 3P が終了する。

4Q

鶴ヶ峰本町が⑤のミドルシュートを決め、果敢に中沢のゴールを攻めるが、中々ゴールを奪えない。一方中沢は④の得点から更に点差を広げ始める。⑦のミドルや速攻、④⑤の加点が続き中沢のペースでゲームが進む。鶴ヶ峰本町も⑥⑦がファウルを誘いフリースローを獲得し応戦するもその差は縮まることなくゲームが終了する。43-15 で中沢が勝利し決勝進出を決めた。

男子準決勝

原・三ツ境ミニバス VS 荏田南ミニバス

1Q：原三ツ境 (4,5,9,11,13)、荏田南 (4,7,8,9,15)

中部地区 2 位の原三ツ境と、北部地区 1 位の荏田南の戦いは注目の一戦となった。両チーム、ディフェンスはマンツーマンでゲームスタート。先制点は荏田南の #9 の力強いドライブイン。対する原三ツ境もすぐさま #13 のジャンプシュートで返す。両チーム、早い展開のオフェンスが続く中、荏田南 #8 の速攻からのドライブインが決まり荏田南が最初のリズムを掴む。対する原三ツ境は、#4 のインサイドプレーを中心にオフェンスを展開するが、荏田南の固い守りに阻まれる。残り 30 秒、原三ツ境は #5 のスティールからのファーストブレイクで #4 のフリースローを得るも、14-5 と荏田南リードで 1Q 終了。



3Q：原三ツ境 (4,5,6,7,12)、荏田南 (4,5,7,8,18)

後半も両チームのディフェンスはマンツーマンでスタート。前半のリードを挽回しようと、原三ツ境は #5、#12 のゲームメイクを中心に、#6 のゴール下、#7 リバウンドシュートで得点を重ねていく。しかし、荏田南は #5 が冷静にゲームを運びつつ、#8、#18 の力強いインサイドプレーで原三ツ境に中々流れを渡さない。3Q 中盤、原三ツ境の #5 がインサイドでポジションを取っている #4 へ見事なリードパスを出し、それを #4 がしっかり沈め点差を縮める。対する荏田南は、残り 1 分となったところで #5 がスティールから得点を重ねる。3Q 終了時 29-23 で荏田南がリードして 3Q 終了

2Q も両チームディフェンスはマンツーマンでスタート。開始早々、原三ツ境の #6 の見事なロングシュートが決まり原三ツ境が 2Q のリズムを掴む。続けて原三ツ境の #12 の鋭いカットインから #10 への見事なアシストからの得点が決まり、一気に原三ツ境が主導権を握る。対する、荏田南は #18 のミドルシュートが決まると、立て続けにポストプレーからのミドルシュート、力強いドライブインが決まり、再び荏田南に流れを寄せる。2Q 一進一退の攻防が続く 2Q 11-10 前半終了時 23-15 荏田南 8 点リードで後半を迎える。

4Q も両チームのディフェンスはマンツーマン。最終クォーター、原三ツ境は、#5、#12 の早い展開のオフェンスからインサイドで勝負を仕掛ける。しかし、荏田南も #8、#18 を中心にインサイドを固く守り、なかなか原三ツ境に得点を与えない。特に原三ツ境 #4 と荏田南 #8 の空中戦は非常に見応えがあった。残り 3 分 42 秒のところ、この試合初のタイムアウトを原三ツ境が取る。追いつきたい原三ツ境は、#12 のロングシュート、#7 のミドルシュートで得点を重ねるも、荏田南の #4 がミドルシュートをしっかり沈め、原三ツ境の追い上げを許さなかった。4Q 9-8 試合終了時 38-31 で荏田南が見事勝利を収めた。



2014 横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

女子準決勝

榎が丘ミニバス VS 藤の木ミニバス

1Q

藤の木 ⑤⑦⑧⑩⑭ 榎が丘 ④⑧⑩⑪⑮

両チーム共マンツーマンでスタート。開始30秒榎が丘C⑫のゴール下で先制。藤の木⑤のカットインで追いつく。その後も榎が丘④、⑫を中心としたオフェンスで得点を重ねる。藤の木も⑤、⑦のジャンプシュートなどで得点を重ねる。途中藤の木はチームファウルが5ファウルとなり苦しい展開。1Qを藤の木8-13榎が丘で終了。



2Q

藤の木 ④⑥⑧⑩⑪ 榎が丘 ⑤⑥⑦⑧⑪

共にマンツーマンでスタート。開始早々藤の木C⑥のハイポストからのカットインからファウルをもらいフリースローをもらう。9-13。榎が丘エンドスローインからのスクリーンプレイで得点。9-15。その後両チーム得点が止まる。残り3分、藤の木タイムアウト。藤の木、残り10秒から厳しいプレスから連続得点。藤の木13-17榎が丘 榎が丘リードで後半へ。

3Q

藤の木 ④⑤⑥⑦⑨ 榎が丘 ④⑤⑨⑪⑫

藤の木 2-2-1 プレスからマンツーマン 榎が丘 マンツーマンでスタート。開始早々、藤の木⑤のカットイン 15-17、榎が丘⑫のゴール下で得点 15-19そこから一進一退の攻防。藤の木④⑤⑥を中心とするカットイン、ミドルシュート。榎が丘④のジャンプシュート、⑫のCプレイで得点を重ねる。残り5秒藤の木⑤のドライブから2点差に詰め寄り3Q終了。 藤の木23-25榎が丘

4Q 藤の木 3Qと同じメンバー

開始1分藤の木⑤のドライブから同点。対する榎が丘④、⑫の連続得点で得点差を広げる。負けじと藤の木⑥のジャンプシュート、⑦のミドルシュートで同点にする。残り3分、榎が丘速攻から⑫へ。バスケットカウント。29-32。3点差になる。残り1分榎が丘④のロングシュートで5点差。29-34、たまたま藤の木タイムアウト。残り40秒。藤の木⑤のドライブからジャンプシュートで3点差。藤の木、残り15秒厳しいディフェンスからスティールし⑤の速攻。1点差。藤の木最後の追上げも届かず、試合終了。榎が丘決勝進出。

女子準決勝

ひかりが丘ミニバス VS 戸塚ミニバス

1Q

先制点はひかりが丘⑤のミドルシュート。戸塚のオールコートマンツーマンにたいして、ひかりが丘は④、⑤がボールをうまくコントロールし2メンゲームからミドルシュートを狙う。対する戸塚は④の個人技を中心にオフェンスを組み立て、ひかりが丘の 2-1-2 ゾーン DF から自在に得点を奪っていく。一進一退の展開で試合は進み、ひかりが丘 9-11 戸塚で1Q終了。



3Q

戸塚は④のパスから⑧が速攻を決める。ひかりが丘はシュートが決まらず、戸塚⑦がレイアップを決めリードをさらに広げる。ひかりが丘はオールコート 2-2-1 に DF を変更する。この DF が機能し、戸塚は思うようなシュートが打てない。この間にひかりが丘は⑥の活躍により逆転に成功。ひかりが丘 21-20 戸塚とし、3Q 終了。

2Q

DF は引き続き、戸塚はオールコートマンツーマン、ひかりが丘はハーフ 2-1-2 ゾーン DF でスタート。ひかりが丘は⑪のロングシュートにより同点とする。ひかりが丘のゾーン DF が機能し、戸塚は思うようにシュートまでいくことが出来ない。しかし、ひかりが丘もなかなかシュートが決まらず、残り 2:30 でタイムアウト。戸塚はフリースローにより得点を重ねるが、ひかりが丘⑧のパスから⑪がシュートを決め、このQを5-5とし、戸塚リードのまま前半を終える。ひかりが丘 14-16 戸塚で前半終了

4Q

最終Qは両チーム意地のDFで得点が決まらない。戸塚は④がシュートを狙うもひかりが丘のDFが厳しく難しいシュートは決まらない。ひかりが丘も、⑪のロングシュート、④のミドルシュート、⑥のゴール下と、ゴールを狙うがいずれも決まらない。試合が動いたのは残り1:20、戸塚のミスからひかりが丘が速攻を狙うも失敗。カウンターから戸塚④がレイアップを決め逆転に成功。このシュートが決勝点となり、お互いにハイレベルなDFの見ごたえのある試合はひかりが丘 21-22 戸塚と、1点差で戸塚が決勝進出を決めた。

女子決勝

戸塚ミニバス v s 榎が丘ミニバス

1Q

開始早々、センター#12にパスを入れ、ゴール下での得点を狙う榎が丘。対する戸塚は、ハードなディフェンスで榎が丘#12を囲んで、台形を守り、#4がドライブ、ロングシュートと果敢に攻め、ゴールを狙う。最初の得点は榎が丘#4のミドルシュート。その後、戸塚#4のロングシュート、榎が丘#12のゴール下シュート、両チーム#4のミドルシュートと、点の取り合いになる。後半、戸塚#10がリバウンドシュートを決め同点に追いつくと、榎が丘#12、#8が負けじとリバウンドシュートを決め、4点差へ。最後に戸塚#4がシュートを決め、8対10。榎が丘リードで1Q終了。



2Q

両チームともマンツーマン。榎が丘#5がミドルシュートとゴール下シュートを決め、点差を広げる。戸塚は#8が積極的に攻め、ファールを誘った。中盤、お互い30秒守りきり、ロースコアの展開となった。戸塚#7がドライブからのステップインシュート、榎が丘#5がフリースローを2本決め、残り2分で11対16。これから両チームとも無得点が続く。榎が丘5点リードで2Q終了。

3Q

両チームともマンツーマン。出だし1分半、無得点の状態が続いた。#8の中距離シュート、#4の絶妙なロングパスやミドルシュートで勢いに乗り始める戸塚。一方、榎が丘は高さを生かし、#12にパスを集める。#12は自らリバウンドを取り、ゴール下シュートで加点。その後、戸塚の激しいディフェンスに何度も苦しむ場面が見られたが、後半、ループパスをしっかりとキャッチし、バスカンを決めた。戸塚は#4がミドルシュートを連続で決め、必死に食らいつく。20対23、点差を縮め、最終クォーターを迎えた



4Q

出だし、戸塚のパスミスからチャンスをつかんだ榎が丘は#12のリバウンドシュートでまた点差を広げた。しかし、戸塚#4のナイスパスから#8がゴール下シュートを決めると、戸塚#7が粘りのディフェンスを見せ、相手のミスを誘う。流れは戸塚へ。戸塚#4が鋭い1対1で点を決め、その後ディフェンスリバウンドもしっかり取った。#4からの速いパスを受けた戸塚#8がゴール下シュートを決め、逆転。残り3:20。戸塚のファールでボールを保持する榎が丘。#5がミドルシュートを決め、再逆転。さらに戸塚の激しいディフェンスの中、榎が丘#4が落ち着いてミドルシュートを決め、点差を3点に広げる。残り1:04、戸塚のタイムアウト。榎が丘のスローインから試合再開。戸塚#4が素早くボールを奪い、シュートを決めて1点差に詰めよる。緊迫した接戦の中、最後は榎が丘#5がシュートを決め、28対31。榎が丘の勝利。両チームの健闘、ナイスプレーに多くの観客が惹きつけられた素晴らしいゲームだった。



2014 横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

男子決勝

荏田南ミニバス v s 中沢ミニバス



1Q

両チームともマンツーマンでスタート。

立ち上がり両チーム共に固く、2分半ノーゴール。しかし、中沢は④がルーズボールを拾いレイアップを決め先制。続いて⑤がリバウンドを取りバックシュートを決め4対0となる。対する荏田南も⑧が高さを生かしてゴール下を決めるがボール運びでのミスが目立ちなかなか得点できない。

中沢は④のミドル、⑤の速攻など連続得点を挙げ、8対2と中沢がリードする

2Q

両チームマンツーマン。

開始早々、荏田南⑫がコーナーからミドルを決める。対する中沢は1Q同様、ルーズボールやリバウンドを頑張り粘る。⑧⑭がフリースローを決め11対4とリードを広げる。

高さで勝る荏田南は⑩がステップインシュートを決めるとポストにボールを集め始め反撃を開始する。中沢も⑦が入れ返すが荏田南は⑩がゴール下を決め13対10と荏田南が点差を詰めて後半へ。

3Q

両チームマンツーマン。

中沢は⑤がディフェンスリバウンドをとってそのままドリブルで持ち込み15対10とし2Q最後の悪い流れを断ち切ったか見えた。しかし荏田南は速攻で立て続けにシュートを決め1点差まで詰め寄る。対する中沢は⑤から⑥への合わせが決まり再び3点差とするが、高さのある荏田南のディフェンスにミスが目立ちはじめる。

ディフェンスでリズムが出てきた荏田南は⑩、⑧、⑩と3連続ポストプレイで一気にリードを広げる。その後もディフェンスからの速攻などで点を重ねた荏田南が28-21と7点のリードをして最終クォーターへ。



4Q

荏田南は2-1-2のゾーン。中沢はマンツーマンでスタート。

荏田南は⑧がリバウンドシュートをねじ込み30対21となり、この試合最大の点差がつく。しかし、中沢はゾーンディフェンスのギャップをうまくつきノーマークでミドルを確実に決めて30対25と5点差まで詰め寄る。荏田南はまたも⑩がバスカンを決め33対25と差を引き離しにかかる。残り時間も少なくなり中、中沢は④を中心に落ち着いたパス回しからチャンスを作りじわじわと詰めていく。⑦のスティールからの速攻、④のミドルが決まり残り34秒で33対29と4点差まで詰め寄る。ここで荏田南この試合初めてのタイムアウトを取る。再開後、荏田南はポストマンを中継させてボール運びをする。中継したポストマンのダウンボールを狙った中沢。スティールが決まったかに見えたが痛恨のファウル判定。その後、ボールを確実に回した荏田南がそのまま逃げ切り初優勝を飾った。